

バドミントンプレーヤー廣田彩花後援会設立趣意書

廣田彩花選手は、1994年8月1日に和水町の竈門に生まれ、町立菊水西小学校及び町立菊水中学校を卒業した生粋の和水っ子です。

バドミントンは幼いころに家族の影響で始め、両親が監督・コーチを務めていた「菊水ジュニア」に所属。2人の兄達とともに昼夜を問わずシャトルを追いかける毎日を過ごしていました。

中学校卒業後は、地元の名門玉名女子高等学校に進学し、幾度も全国大会に出場。特に高校2年生時に行われた全日本ジュニア選手権大会では、女子ダブルスに出場し準優勝を成し遂げ、一躍全国区の選手となりました。

高校卒業後は、地元の実業団「ルネサス」バドミントン部に所属し、1学年上の福島由紀選手とペアを組み始め、厳しい練習に耐えながら着々と力をつけていきました。2015年「再春館製薬所」バドミントン部に所属してからは、数々の国内大会・国際大会で優勝するなど輝かしい活躍を見せました。特に、2017年の活躍はめざましく、「世界選手権大会準優勝」、「全日本総合選手権大会優勝」などの栄光をつかみました。

2018年5月からは「岐阜トリッキーパンダース」に移籍し、2020年東京オリンピックへ向けて毎日の練習に励んでいます。2018年8月9日付の世界ランキングでは1位となっており、東京オリンピックへの出場及びメダル獲得への期待がますます高まっているところです。

このような状況の中で、地元和水町では、「廣田選手は、和水町が生んだ希望の星だ。廣田選手の更なる活躍と東京オリンピック出場を願って、地元として少しでも力になりたい。」という声が聞こえるようになりました。

また、廣田選手本人及びご家族も、地元からの温かい声援に感謝し、「生まれ育った和水町に恩返しをしたい。」という思いをお持ちです。

そこで、発起人一同は、「後援会を組織し、和水町が生んだ希望の星『廣田彩花選手』を町民を挙げて応援したい。」と考え、バドミントンプレーヤー廣田彩花後援会の設立を発意しました。廣田選手とともに、町の青少年の育成や社会福祉の増進に向けた諸活動に取り組み、地域の活性化に貢献していきたいと思えます。

以上の設立趣旨にご賛同のうえ、多数の皆様のご入会をお願い申し上げます。

平成30年8月14日

発起人一同